

# 配線図のルール

～回路図全体の構図を決める～

ルール

1

## 電位の高い方を上に描く

振幅  $\pm 1V$  の信号を入力すると、 $\pm 10V$  に増幅して出力する回路を図1に示します。電源電圧は電位の高い方を紙面の上部に配置します。

電源は電荷がたまっていた貯水池みたいなもので、電源電圧は、貯水池の場所の標高に相当します。そして電流は電圧の高いところから低い方に向かって流れます。これは水が高い場所から低い場所に向かって流れるのと同様です。

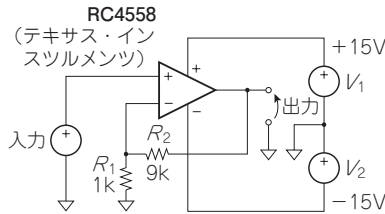


図1 電源電位は高い方のラインを上とし、信号は左から右に流すようにする  $\pm 1V$  を  $\pm 10V$  に増幅する回路の例

ルール

2

## 信号は左から右へ

図1を見ると、信号は入力から出力まで、左から右に流れていることが分かります。これは横書きの文章を左から右へ書くのと同様です。

ルール

3

## 縦長の回路図は間延びする

図2(a)は回路を縦長に描いたとき、図2(b)は横長に描いたときです。

図2(b)の方が美しいと思いませんか。

一般に、縦・横の比が黄金比率(1:1.6181)になっていると、人は美しいと感じるらしいです。

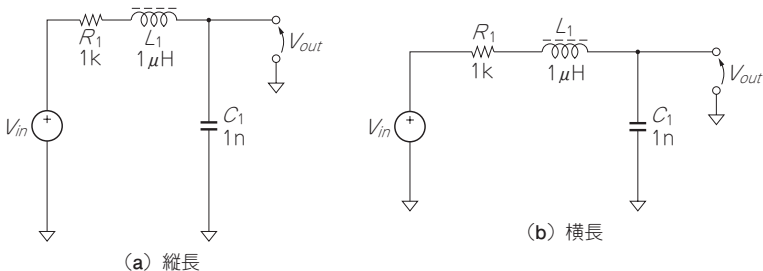


図2 縦・横比は横長の黄金比が美しい